

【5】 SWOT分析—input/outputマトリックス

※SWOT分析にBSC(Balanced Scorecard)の視点を取り込むと、「強みや弱み」などから、将来のテーマを引き出す枠組みをつくっておくことで、課題整理と問題解決の糸口が、格段に明瞭になってきます。

	奉仕の視点	財務の視点	プロセスの視点	人材・学習の視点
S(強み)	・職業奉仕の意識が高い	・コストコントロールが出来ている ①例会場の経費削減 ②事務局費の削減 ③事業の縮小	・居心地がよく、仲の良い組織を維持し、運営している(メイキャップした後にホーム例会に出ると、家に帰ってきたような気持ちになる) ・RIや地区の意向に真摯に向き合っている ・規約改定やCLPなどの取組も順次行っている	・人格者が揃っている ・スキルの高いリーダーが多い ・互恵関係ができている ・全員が発言をする ・いざというときの結束力は非常に強い
W(弱み)	・資金不足にて、事業活動を縮小している ・この期には「〇〇の事業」をやったというもの(達成感)がない	・会員数が少なく、収入が少ない ①地域に企業が少なく、増強に苦戦 ②会員の増強の意識が薄い	・委員会組織体制は弱い ・ロータリーの組織や仕組み及び事業活動(委員会活動...)など教育の仕組みがない	・ロータリーの規約に疎い ・RIや地区の事業活動に疎い ・ロータリーの組織や仕組み及び事業活動(委員会活動...)など会員ひとり一人の知識・認識不足
O(機会)	・RIや地区の新規事業を打ち出してくれる	・久しぶりに若い新入会員が入ったので、その会員を核にして若い世代を会わせたい	・CLPの導入で、中長期展望を計画できる ・方針や目標が明確であれば、やる気を創出でき、更にRCを楽しんでもらえる体制ができる	・例会に出席することを楽しみにしている
T(脅威)	・RIや地区の新規事業がクラブ運営の負担になる ①新規事業を行うのであれば、形骸化した、または役割を終えた事業は縮小または廃止してほしい。	・RI及び地区の分担金が増加傾向にある	・急激な変化はクラブの根底を揺るがす可能性がある ①高齢化が進み後輩に役を譲りたい ②過度な負担は退会につながる可能性がある	・出席率の悪い会員が固定化してきている

※2015年13日20日と例会で話し合っ、上記SWOTマトリックスを作成した。